



株式会社東京機械製作所

証券コード：6335

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社第158期中間報告書（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）をお届けいたします。

平成26年12月

代表取締役社長 芝 龍太郎



## 営業の概況

	当第2四半期累計	前年同期比	前第2四半期累計
売上高	3,404百万円	△ 8.9%	3,739百万円
営業利益	△ 541百万円	—	△ 1,244百万円
経常利益	△ 322百万円	—	△ 1,220百万円
四半期純利益	△ 503百万円	—	16,175百万円

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げによる消費低迷や海外景気の下振れ懸念が国内景気の下押しリスクとして存在しているものの、政府・日銀による経済・金融政策により設備投資が持ち直すなど緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループが主として事業を展開している新聞印刷業界は、このような状況にもかかわらず設備投資に慎重な姿勢が変わらず、当社グループにとって厳しい状況が続いております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、販路拡大と需要喚起に努めましたが、当社グループの主力製品であるオフセット輪転機への需要が十分に回復せず、また、当初上期に見込んでおりましたインクジェット方式

のデジタル印刷機の新規受注が下期及び来期以降にずれ込んだこともあり、34億4百万円と振るわない結果になりました。

損益面では、設計、製造の各方面でコストダウンに努め、前年同期と比較し改善しておりますが、当第2四半期連結累計期間の営業損失は5億41百万円（前年同期は営業損失12億44百万円）、経常損失は3億22百万円（前年同期は経常損失12億20百万円）となり、四半期純損失は5億3百万円となりました。

株主の皆様には大変申し訳なく存じますが、中間配当につきましては引き続き無配となりますこと、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

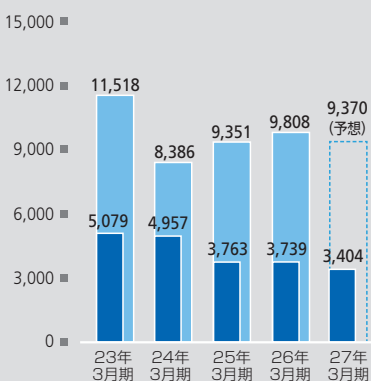
## 通期の見通し

	当期予想	前期比	前期実績
売上高	9,370百万円	△ 4.4%	9,808百万円
営業利益	△ 1,290百万円	—	△ 3,101百万円
経常利益	△ 1,310百万円	—	△ 2,997百万円
当期純利益	△ 1,370百万円	—	12,872百万円

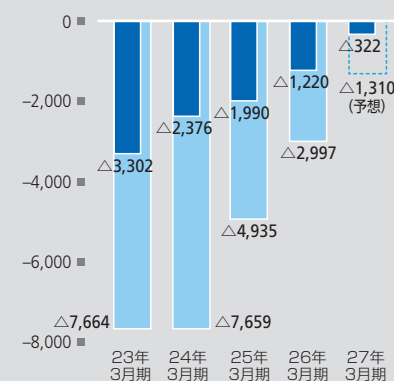
## 財務ハイライト

■ 第2四半期 ■ 期末

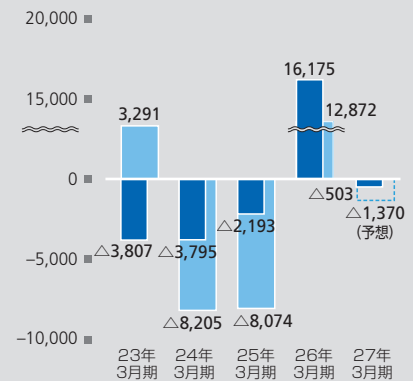
### 売上高 (単位：百万円)



### 経常損益 (単位：百万円)



### 四半期(当期)純損益 (単位：百万円)



## TOPICS 1

# デジタル印刷機JETLEADER1500、『2014年InterTech Technology Award』を受賞

デジタル印刷機「JETLEADER1500」が、『2014年InterTech Technology Award』を受賞し、本年9月に米国のシカゴにおいて授賞式が開催されました。当社からは、芝 龍太郎社長が出席し、InterTech Starの盾が授与されました。

『InterTech Technology Award』とは、1978年に始まった米国の印刷技術団体である「Printing Industries of America」が主催する技術コンテストで、グラフィックアートや印刷関連産業に大きな影響を与える技術の開発に対して、その栄誉を称えるものです。昨今ではモバイル技術やデジタル印刷、ワークフロー、バリアブル印刷などといった、印刷関連産業において優れた最新の技術に与えられる大変名誉ある賞です。

審査では、その“革新性”と“グラフィック業界のパフォーマンスを前進させる可能性”に基づいて選択され、「JETLEADER1500」の最大の特長である“ふたつのバリアブル（可変）”について高い評価をいただきました。

一つは“バリアブルカットオフ”です。この機能により、多種多様なサイズの製品を印刷することが可能となりました。「JETLEADER1500」は既に米国において、Topweb社様（シカゴ）で2台、ハワイ報知社様（ホノルル）で1台が稼働しておりますが、この“バリアブルカットオフ”機能を活用して、多種多様なカット長と紙幅の印刷物を製作しております。

もう一つは“バリアブルデータ”です。これは例えば、一部毎に異なる読者の名前や住所などを直接印刷したり、印刷物のある部分に、一部毎に異なる画像を印刷することが可能な機能です。

9月28日から10月1日の4日間、同じくシカゴにおいて総合印刷機材展GRAPH EXPO 2014が開催されました。当社も、新聞製作エリアにブースを設け、「JETLEADER1500」や輪転機などのパネル展示を行い、この“ふたつのバリアブル”についてご紹介しました。

InterTech Technology Award授賞式▼



JETLEADER1500▲



▲TKSブース

## TOPICS 2

# カラートップセンチュリー、京都新聞ホールディングス様に納入決定

当社は、本年4月に京都新聞ホールディングス様より、久御山工場向け「カラートップセンチュリーオフセット輪転機」を1セット受注いたしました。

京都新聞ホールディングス様では、本社工場の既存輪転機2セットを更新するにあたり、効率の観点から久御山工場への工場一元化を検討されました。

その結果、久御山工場に世界最速の「カラートップセンチュリー」を1セット増設し、トータル3セット体制にて約58万部を印刷されることとなりました。

本稼働は、平成27年10月を予定しております。

カラートップセンチュリー▶



## TOPICS 3

# カラートップ6200UDH、あかつき印刷様に納入決定

当社は、本年8月にあかつき印刷様より、ASビル印刷工場向け「カラートップ6200UDHオフセット輪転機」を1セット受注いたしました。

ASビル印刷工場様では、当社製オフセット輪転機が現在2セット稼働中ですが、さらなる読者へのサービス向上および、新たな受託印刷への対応を考慮され、このうちの1セットを「カラートップ6200UDH」に更新していただくこととなりました。

本稼働は、平成27年11月を予定しております。

「カラートップ6200UDH」調印式▶



## 連結財務諸表 (要旨)

### 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期末 (平成26年9月30日現在)	前期末 (平成26年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			
流動資産		15,506	17,940
固定資産		6,967	7,233
有形固定資産		6,105	6,268
無形固定資産		4	5
投資その他の資産		856	959
資産合計		22,473	25,173
<b>負債の部</b>			
流動負債		3,128	4,960
固定負債		5,344	5,673
負債合計		8,472	10,633
<b>純資産の部</b>			
株主資本		13,033	13,536
資本金		8,341	8,341
資本剰余金		3,807	3,807
利益剰余金		1,453	1,957
自己株式		△ 568	△ 568
その他の包括利益累計額		△ 146	△ 82
少数株主持分		1,113	1,085
純資産合計		14,000	14,540
負債・純資産合計		22,473	25,173

注：金額は表示単位未満を切り捨てて表示しています。

### 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	前第2四半期 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)
売上高		3,404	3,739
売上原価		2,931	3,758
売上総利益又は売上総損失(△)		472	△ 18
販売費及び一般管理費		1,013	1,225
営業損失(△)		△ 541	△ 1,244
営業外収益		249	213
営業外費用		30	189
経常損失(△)		△ 322	△ 1,220
特別利益		12	21,789
特別損失		138	2,899
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)		△ 448	17,670
法人税、住民税及び事業税		71	1,543
法人税等調整額		△ 45	△ 19
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)		△ 474	16,145
少数株主利益又は少数株主損失(△)		28	△ 29
四半期純利益又は四半期純損失(△)		△ 503	16,175

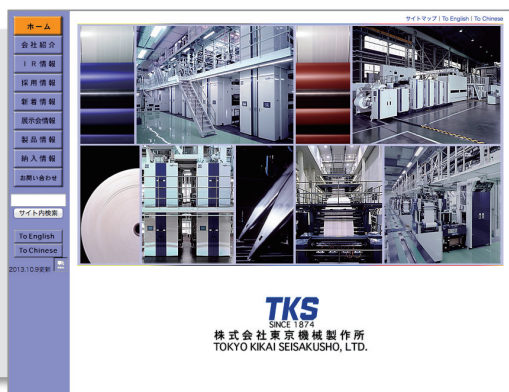
注：金額は表示単位未満を切り捨てて表示しています。

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	前第2四半期 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー		△ 283	△ 3,998
投資活動による キャッシュ・フロー		314	25,459
財務活動による キャッシュ・フロー		△ 129	△ 15,551
現金及び現金同等物に 係る換算差額		10	5
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)		△ 87	5,914
現金及び現金同等物 期首残高		9,654	4,053
現金及び現金同等物 四半期末残高		9,566	9,968

注：金額は表示単位未満を切り捨てて表示しています。



## 当社ホームページのご案内

最新のニュースリリースやIR情報は以下のサイトにてご覧頂けます。

<http://www.tks-net.co.jp/>

東京機械製作所

検索



## 会社概要 (平成26年9月30日現在)

商号 株式会社東京機械製作所  
 創業 明治7年  
 設立 大正5年2月15日  
 資本金 83億4,100万円  
 上場証券取引所 東京証券取引所市場第1所  
 従業員数 312名(連結477名)  
 本社 〒108-8375  
 東京都港区芝五丁目26番24号  
 電話：03(3451)8141 (代表)  
 かずさテクノセンター 〒292-0818  
 千葉県木更津市かずさ鎌足一丁目6番  
 電話：0438(20)5551 (代表)  
 営業所 札幌、東北(仙台)、名古屋、関西(大阪)、  
 福岡、北京代表処(中華人民共和国)

## 役員 (平成26年9月30日現在)

取締役	代表取締役社長	芝	龍太郎
	専務取締役	小林	晴佳
	常務取締役	木船	正彦
監査役	常勤監査役	武田	昌房
	常勤監査役	原永	幸治
	監査役	垣内	源雄

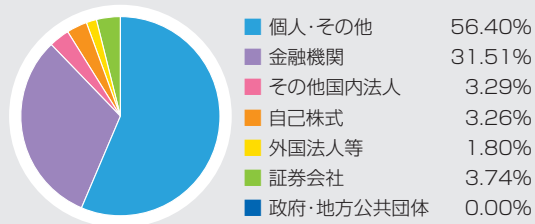
## 株式の状況 (平成26年9月30日現在)

発行可能株式総数 360,000,000株  
 発行済株式総数 90,279,200株  
 (自己株式2,944,963株を含む)  
 株主数 9,751名  
 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	5,000	5.72
株式会社三井住友銀行	4,232	4.84
株式会社みずほ銀行	4,232	4.84
日本生命保険相互会社	3,117	3.56
住友生命保険相互会社	2,772	3.17
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	2,537	2.90
芝 武 子	1,255	1.43
芝 康 平	1,171	1.34
日本証券金融株式会社	1,115	1.27
芝 則 之	1,011	1.15

(注) 当社は、自己株式2,944,963株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### 所有者別分布状況



### 所有株数別分布状況



## 株式についてのご案内

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日  
 剰余金の配当基準日 3月31日  
 (中間配当を行う場合は9月30日)  
 定時株主総会 毎年6月下旬  
 単元株式数 1,000株  
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部  
 公告掲載新聞 東京都において発行する日本経済新聞  
 および朝日新聞

### 郵便物送付先・お問い合わせ先

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先 電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所
ご注意	未払配当金の支払 <sup>(※)</sup> 、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買は出来ません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

※未払配当金のみ、みずほ銀行全国本支店でもお取扱いたします。

## 単元未満株式(1~999株)の買取・買増請求制度のご案内

当社株式の証券市場での取引は1,000株単位となっており、単元未満株式(1~999株)を市場で売買することは出来ません。

当社では、「単元未満株式の買取請求制度」および「単元未満株式の買増請求制度」を採用しておりますので、ぜひお手続きくださいますようお願い申し上げます。

### 買取・買増制度の例(1,700株ご所有の場合)

